

参考資料：池田市歴史文化基本構想に係る市民等アンケート結果

1. アンケートの実施概要

1) 対象・手法・期日

①対象：文化財所有者等

手法：郵送

期日：平成29年6月9日～6月26日

②対象：市民（市内11の地域コミュニティ推進協議会を通じて）

手法：郵送

期日：平成29年7月6日～8月4日

③対象：市民

手法：池田市ホームページ掲載

期日：平成29年7月6日～7月28日

2) 回答数（合計81）

①10

②70

③1

2. アンケートの内容

実施したアンケートの設問は、以下に示すとおりである。

問1. あなたのお気に入りの歴史文化遺産はどれですか

一番うしろのページに「池田市歴史文化基本構想」の5つの「テーマ」を構成する歴史文化遺産を《もの》《こと》《きおく》としてあげています。1から115の歴史文化遺産のうち、あなたのお気に入りのものに○をつけてください。いくつでも結構です。

さらに、そのなかでも特にお気に入りの遺産がありましたら、遺産名とその理由などをお書きください。

問2. あなたの身近な歴史文化遺産を教えてください

お住まいや職場の近くなどに大切にしたいとお考えの歴史文化遺産がありますか。《もの》《こと》《きおく》のいずれでも結構です。

あると回答された場合には、その名称や位置、魅力ある遺産だと思われるポイントについて、お書きください。

問3. 歴史文化遺産を守り育てる活動について教えてください

「池田市歴史文化基本構想」では、祭りや地蔵、道標、大木、水路など地域の歴史文化遺産を守り、育てる活動などを広げていくことをめざしています。身近な生活のなかで、歴史文化遺産を守り、育てる活動をされていますか。されている場合にはその具体的な内容について、お書きください。

問4. その他、池田市の歴史文化に関わることについてご意見があれば自由にお書きください

※添付資料：「池田市歴史文化基本構想」についての概略

3. アンケート結果

問1-1. お気に入りの歴史文化遺産（複数回答可）

お気に入りの歴史文化遺産の第1位は「愛宕火（がんがら火）」（50票）、第2位は「逸翁美術館」（46票）、第3位は「インスタントラーメンの発明」（40票）、第4位は「阪急電鉄」（38票）、第5位は「五月山」（37票）となった。

全115件（重複項目を除くと全109件）の歴史文化遺産のうち、お気に入りとして10票以上となった歴史文化遺産を下記のグラフで示す。

総数で58件の歴史文化遺産が「お気に入りの歴史文化遺産」としてあげられ、池田市の歴史文化の多様性を示している。

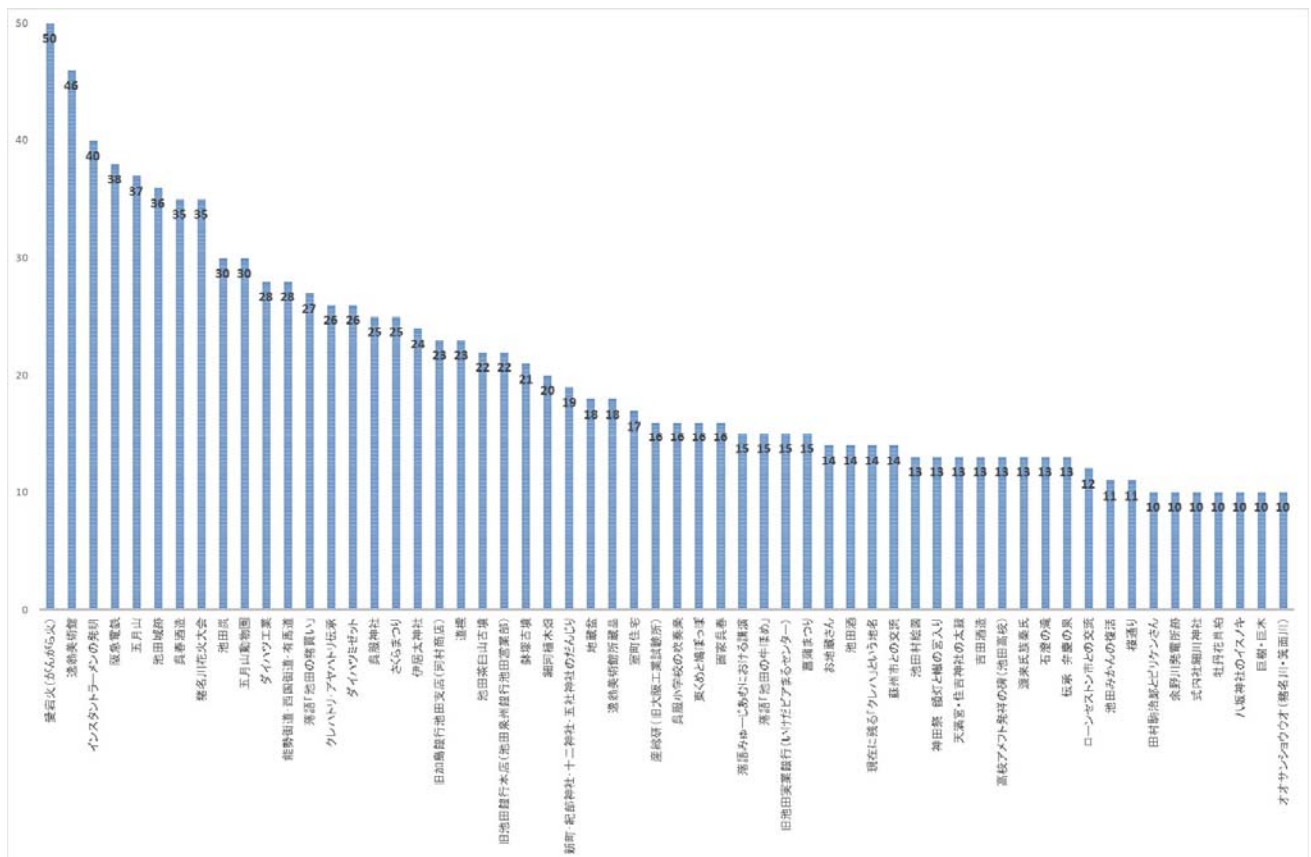


図1: お気に入りの歴史文化遺産

問1-2. 特にお気に入りの歴史文化遺産（単一回答）

上記の歴史文化遺産のなかでの特にお気に入りの歴史文化遺産に関する回答のうち、1票を超える回答があった遺産は右の表のとおりである。このうち、第1位は「愛宕火（がんがら火）」、第2位は「インスタントラーメンの発明」、第3位は「逸翁美術館」と「五月山」であった。

そのほか、クレハトリ・アヤハトリ伝承や池田城跡以外にも道標や地蔵盆などの身近な歴史文化遺産もあげられており、市民の歴史文化遺産への関心の幅広さを示している。

表1: 特にお気に入りの歴史文化遺産

名称	票数
愛宕火(がんがら火)	7
インスタントラーメンの発明	6
逸翁美術館	5
五月山	5
クレハトリ・アヤハトリ伝承	4
池田城跡	3
五月山動物園	3
道標	2
神田祭 額灯と幟の宮入り	2
地蔵盆	2
呉春酒造	2
ダイハツ工業	2
阪急電鉄	2
呉服小学校の吹奏楽	2
蘇州市との交流	2
池田炭	2
オオサンショウウオ(猪名川・箕面川)	2

問2-1. 住まいや職場の近くなどの大切にしたい歴史文化遺産の有無

「身近に大切にしたい歴史文化遺産がある」との回答が81%を占めており、住まいや職場の近くなどの日常の生活空間の中で歴史文化遺産を身近に感じ、なおかつそれらを大切にしたいとの認識が高いといえる。

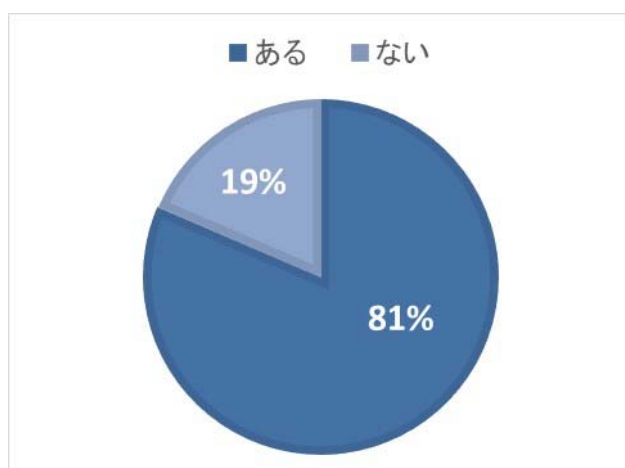


図2：身近な大切にしたい歴史文化遺産の有無

問2-2. 身近に大切にしたい歴史文化遺産が「ある」場合、その歴史文化遺産の名称・位置・魅力

回答者が身近な歴史文化遺産として大切に思う遺産及びその魅力は、次の表に示すとおりである。

それぞれの歴史文化遺産の魅力について、歴史文化遺産の価値を示すもの、池田の歴史そのもの、記憶のなかにある価値を示すもの、風景としての価値を魅力として示すものなどがあげられており、身近で多様な池田の歴史文化遺産の魅力や価値が市民に広く認識されていることを示している。

表2：身近な歴史文化遺産の名称・位置・魅力に関する回答一覧

名称	位置	魅力
鉢塚古墳	鉢塚 2-4-28	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巨大な石室がある。 ・ 誰でも見学可能であったこと。
クレハトリ・アヤハトリ伝承	唐船が淵、染殿井、星の宮、呉服神社、伊居太神社	<ul style="list-style-type: none"> ・ 呉の国（今の中国）から姉妹の織姫が上陸し、日本に織物を最初に伝え、伊居太神社・呉服神社に祀られていると聞いている。 ・ 市章の由来でもある。この話を起点にして、近世・近代へのダイナミックな物語が継げるのでは。 ・ 歴史のロマンを感じる。
池田城跡	城山町 3-46	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体、庭園、茶室、景色が素晴らしい。 ・ 眺望が素晴らしく、庭も広く開放感がある。
池田城跡の白ゆり		
旧加島銀行池田支店	栄本町 8-7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商店街が賑わっていたことを感じられる建物であり、池田という土地の歴史を感じる。
十二神社境内の防空壕	豊島南 1-2-9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 戦争遺産。壕内には 20 人程度が避難可能。現在、出入口は閉鎖されているがしっかり現存している。
住吉神社の和算額	住吉 2-3-18 神社内宝物殿	<ul style="list-style-type: none"> ・ 江戸時代の先人の知恵に感心する。
神田祭の神輿の旧御旅所の据置き台（石台）	神田 3-5-16 神田会館前庭	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旧郷蔵の御旅所にあった石の台座。柔らかい石の為、かつて子ども達が削って遊び道具にしたのか、表面が凸凹になっている。
室町入口の大鳥居	室町 6 室町公園前	<ul style="list-style-type: none"> ・ 室町への入口のように感じる。
呉服神社前的一本松		
東山町の道標・お地藏さん	東山町国道 423 号沿いの交差点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古い街道であったことが思い浮かぶ。

久安寺	池田市伏尾町 697	<ul style="list-style-type: none"> ・重要文化財の楼門がある。 ・歴史が古く、額が有名である。 ・虚空園は、豊臣秀吉が茶会をしたと言われている。
妙見道の道標	市営古江住宅入口付近	<ul style="list-style-type: none"> ・古い道があった。
慈恩寺	吉田町 485-1	<ul style="list-style-type: none"> ・細河住民に支えられた寺である。 ・ハス池と紅葉が大変美しい。
陽松庵	吉田町 179	
無二寺	古江町 387	
細河の植木畑	古江町など	
四季の稲作	吉田町・東山町	<ul style="list-style-type: none"> ・田植→稲刈→獣害防止ネット→天日干の年間作業が四季をあらわす。獣害問題もあるが、キツネやイノシシ、鹿などの野生動物をみることができる。
札場	古江町のコンビニを入った所	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを守る守り地蔵さんがある。
神明社	伏尾町 国道 423 号沿い	
伏尾の地蔵・道標		
妙見道と道標・石灯籠	古江橋たもとのマリンショップ横と、伏尾ゴルフ倶楽部(中河原町 16-3)奥の東ときわ台との中間あたり	<ul style="list-style-type: none"> ・「左妙見」の古い道標や、「南無妙法蓮華經」下に「右妙見山左多田院」と記された背の高い道標。 ・立派な石灯籠である。
ビッグハープ（新猪名川大橋）	阪神高速池田線出入口に通ずる猪名川にかかる橋桁	<ul style="list-style-type: none"> ・北摂都市池田が交通の要衝であることを象徴している構築物と言える。
道しるべ	伏尾ゴルフ倶楽部(中河原町 16-3)に向かう道路	<ul style="list-style-type: none"> ・シヤラリン山に通じる道しるべがあり、妙見道ではないかと思う。
畑天満宮	畑 3-15-8	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根付いていて、抛り所になっている。
畑天満宮のだんじり		
畑天満宮のお稚児さん		<ul style="list-style-type: none"> ・10月25日前後に、募集した3歳～小学3年生の子ども達が装束を着て砂持ち神事を行う。猿田彦が先頭となって約100名が西畑公園から天満宮まで練り歩く姿に歴史を感じる。
水月公園の梅林・菖蒲祭り	鉢塚 3	
歴史民俗資料館	五月丘 1-10-12	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展示はみるべきものが多く、企画も面白い。 ・積極的な展示をしている。
やまざくら通り	五月丘 1～3 五月丘中央線	<ul style="list-style-type: none"> ・五月山公園とあわせて春に2度桜の花見ができる。
大阪、神戸、奈良、和歌山への展望、日の出、日の入り、星空	五月丘 4～山の手公園への道路	<ul style="list-style-type: none"> ・思わず大きく伸びをし、大きい声で「ブラボー」とさけび体操をして帰る。
府道 9 号沿いのまち並み・景色	綾羽町、五月丘 2～畑 5	<ul style="list-style-type: none"> ・道路が高いところを通っているため、南側に大阪平野や大阪湾、西側に六甲山を望めるほかにない景色。
猪名津彦神社	宇保町 6	<ul style="list-style-type: none"> ・幼少期に遊んだ思い出の場所であり、歴史ある神社。
ダイハツ東側の桜並木	桃園 2	<ul style="list-style-type: none"> ・非常に美しい。
呉服南盆踊り大会	呉服町 11-1 呉服会館（共同利用施設）	<ul style="list-style-type: none"> ・今年で第 44 回目を迎えた盆踊り大会。地域住民の交流・親睦、まちづくりを目指し、44 年間続けている。
石澄川の桜	畑 4～旭丘 2 ぐらいまでの石澄川川岸	<ul style="list-style-type: none"> ・桜の開花時は、池田市内でも 1、2 位ぐらい美しい。
石澄の滝からダムまでの山林		<ul style="list-style-type: none"> ・子どものころ、探検した山林の山肌に石英やアンモナイトの化石を発見した。太古の昔には海岸であったと考えられる。
ちゃんべえさん	渋谷 1-1～2 あたりの祠	<ul style="list-style-type: none"> ・米飢饉のときに直訴したことで庄屋本人は打ち首になったが、村人が救われたという伝承。村のために命をささげた人を忘れてはいけない。
旧井口堂村古文書	市教育委員会保管	<ul style="list-style-type: none"> ・井口堂地区の歴史を知ることができる文書類。

井口堂団地開発由来		
石橋小学校の開発由来		
井口堂地蔵の溜池・排水路・箕面川・石澄川関係		
旭丘の桜並木	旭丘 2	・古きを感じる。行きすがりの出会いや春らんまんの桜並木のひとときは豪華な楽しみ。
夫婦池公園テニスコート	八王寺 2-2-1	・池田のテニスの歴史を受けて建てられた。
不死王閣	伏尾町 128-1	・鮎茶屋の伝統を引き継いでいる。
稲荷山古墳（二子塚古墳）	井口堂 1-5-1	・住宅地の中にこんもりとした山があり、四季折々近隣の人びとを楽しませてくれる。 ・緑いっぱいの古墳である。
西国街道・能勢街道・その交差点	石橋 3 と石橋 4 の境界（阪急西国街道踏切）あたり	・近世までの、池田の近隣に対する存在位置が明確になる。 ・古い街道が交わる場所としての意味を考えることができる。
石橋村絵図	石橋農業実行組合長宅保管	・明治初期頃の集落の様子が分かる。
旧石橋村高札場跡の看板	石橋 3-3	・江戸時代、多くの人びとや物資が行き来した辻に、幕府や奉行所が庶民に周知する法令や禁令、生活の規範などを掲げた。
石橋の赤い橋・欄干のえぼし	石橋 1 石橋商店街	・蛍や亀、鯉、白鷺などが住んでいる。子ども連れのお母さんが川を覗き、子どもと一緒に魚が泳ぐのを見ている。
北神田地蔵盆	北神田地区	・地蔵（東・西）の周囲に電灯を灯し、お供物を並べて供養する。子ども達に昔話や地蔵のいわれを話し、お菓子を渡し、健康に 1 年を過ごすように言葉を添える。10 年近く前までは「数珠繰り」もあったが、現在は行われなくなった。地域の仏教信仰のあらわれとして重要。
常福寺・千手観音	神田 3-11-2	・神田の歴史を知るには常福寺を知る事が重要である。
高山茂編著『ふるさと神田』（平成 14 年発行）	神田地区限定で配布	・神田の歴史を記録、保存し、また、昔聞いた言い伝えを後世に残していくことを趣旨として発刊。誰にでも理解できる分かりやすい表現で語られている。
八坂神社本殿		
八坂神社のいちょうの木	神田 4-7-1	・12 月初旬には、じゅうたんを敷いたように、黄色の葉でいっぱいになる。
八坂神社鳥居横の石柱（常夜燈カ）		・阪神・淡路大震災で損傷。
呉春	綾羽 1-2-2	・愛飲している大阪市内在住の友人から、近くの酒屋で入手しづらいので、是非とも購入して欲しいと依頼された。稀少価値があることに魅力を感じる。
西光寺前交差点	西本町	・なんともいえない風情がある。

問3-1. 歴史文化遺産を守り育てる活動への参加の有無

歴史文化遺産を守り育てる活動に「取り組んでいる」との回答の割合が49%、「取り組んでいない」との回答の割合が51%となり、ほぼ半数が歴史文化遺産を守り育てる活動に取り組んでいる。

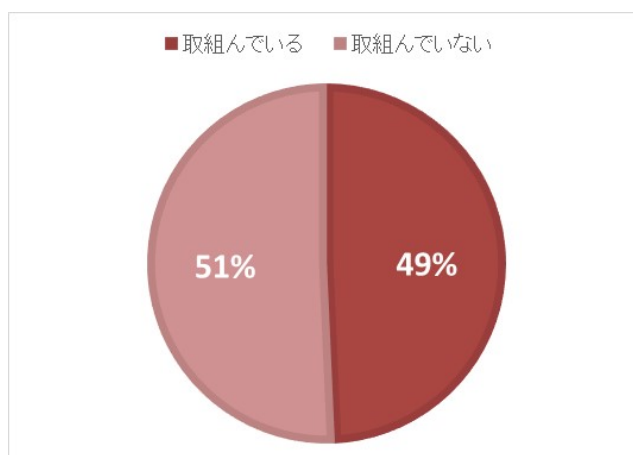


図3：歴史文化遺産を守り育てる活動について

問3-2. 歴史文化遺産を守り育てる活動に「取り組んでいる」場合、その活動の主体・内容

取り組んでいる活動の一覧は次の表に示すとおりである。啓発活動や例祭の実施、建築物の維持管理、広報誌の発行による魅力の紹介など多岐にわたっており、これらの活動の継承が望まれる。

表3：歴史文化遺産を守り育てる活動一覧

活動主体	活動の内容
池田郷土史学会	・毎月の例会活動で自分たちの研修を深めると同時に、講演や研究発表を通して、市民に対して歴史や文化財を大切にするための啓発活動を実施。
池田五月山大文字がんがら火保存会	・毎年8月24日の大文字祭りのため、2月のまき買や5月の京都愛宕神社参拝などの準備。
八坂神社	・重要文化財の本殿やイスノキ、欄間などの維持管理、周辺整備、適宜公開。
室町会	・室町会館の維持・管理。
ほそごう地域（細河地区）コミュニティ推進協議会	・過去10年間、年2回発行する地域の広報誌に細河歴史文化遺産コーナーを設け、地域内の神社・寺・街道などを順次掲載。 ・みどりの郷案内所にて、来館者に細河の魅力を紹介。
細河自治連合会の伏尾・吉田・東山・中川原・北古江・古江の6自治会	・式内社細川神社（五社統合神社）の修理・整備など。
伏尾台 ハイキングの会	・年2、3回、旧街道（妙見道〔絹延橋～古江～伏見台～東ときわ台～里川～妙見寺〕）、余野街道、高山街道、西国街道、多田神社～満願寺のハイキングを実施。
老人会さつきクラブ 友愛連さつきクラブ	・老人会さつきクラブにより年に3回以上清掃活動を実施するなど、横岡公園のお地蔵さんのお世話。アルビス五月ヶ丘団地自治会と協力し、友愛連さつきクラブも地蔵盆を実施。
呉服南盆踊り大会実行委員会	・子どものタル太鼓を本番前1ヶ月間練習。約100人の実行委員会が全ての運営に関わる。インターネットでの他地域からの参加者も多く、盛大に行われる。
上渋谷町内会、渋生会	・畑天満宮の夏祭り、秋祭り、夜店、年末の大根炊きなどを実施。
箕面川を美しくする里親の会	・平成15年に設立。箕面川の清掃活動と花壇への植栽など。
石橋地区福祉委員会	・地蔵まわりの草花の見守り、稲荷山の草取り、花づくり。
石橋水利組合	・山池ポンプ場から定期的に流水し、水路を管理。
石橋農業実行組合	・石橋東地蔵堂（石橋3-4）の管理と祭事。20軒で順番に年間当番を決め、毎月1回供花とお供えを行う。8月24日の地蔵盆には全員でお参りし、子ども達と一緒に数珠まわし（100回）も実施。

石橋財産区管理委員会	・街道への道標の設置、街道一部のカラー舗装。
神田弥栄会	・祭の継承に努力しているが、継承の為の資金確保、人員の補充などが課題。
神田地域コミュニティ推進協議会	・神田ふるさとカレンダーを平成27年から毎年発行。残していきたい、失われゆく神田の風景を中心に、月ごとに写真を掲載。
五月山グリーンエコー	・毎月、五月山の植物調査を実施。
個人や有志など	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回、火伏・防火を願い、京都愛宕神社に参拝し、各戸にお札を配布。8月の2日間、天満宮階段下の愛宕神社のお社を「火番」としてお祀りする「愛宕講」を実施。 ・地域のお地蔵さんの掃除やお供えなど。 ・星の宮神社や九頭龍神社の10月の例祭に向けて、毎月の清掃活動や除草活動。 ・毎年10月中旬、地域の三地区の太鼓がくり出し、駒の森十二神社の秋の大祭を開催。 ・逸翁美術館など、市内美術館の展示拝見や講座への出席。 ・畑天満宮の夏・秋祭りでのパトロールやまかない、宮入りへの参加。 ・とんとや秦野地区5か所の盆踊りへの参加。 ・年1回3月の午の日に、近隣で稲荷山古墳の上にあるお稲荷様を祀り、1年の無事をお祈りする。 ・住吉神社奉納「野玉坂花笠太鼓」を責任者として毎年10月に出している。最近新しい神輿を購入し、「ギャル神輿」として出している。石橋駅前会館を拠点にし、神社～商店街～村中を巡行。 ・江戸時代から続く伊勢講を4軒で実施し続けている。 ・地域活動として一体感のある市民カーニバル石橋祭を実施。 ・神田祭の額灯と幟の宮入りに直接参加。 ・井口堂地域の子どもや高齢者など50名ほどが集まり、毎年地蔵盆を実施。子ども達が拍子木をたたきながら近所をまわる。大きい数珠を30回位まわし、折りたたんだ数珠を背中にあて無病をととなえ、最後に、子ども達にお供えのお菓子を配布。現在、地蔵を見守っているのは5軒。長く続いているこの行事を守っていきたい。

問4. 池田市の歴史文化に関する自由意見

池田市の歴史文化に関する自由意見を下記のとおり分類した。歴史文化遺産の保存や守り育てる体制、歴史文化遺産の価値の検証などについての意見のほか、歴史文化遺産の活用に対する意見や提案が多くみられた。また、歴史文化を守り育てるうえでの課題もあげられた。

これらの幅広い意見や提言を参考とするほか、歴史文化を守り育てるうえでの課題解決に向けた取り組みを進めていくことが必要とされる。

■歴史文化遺産の保存、守り育てる体制について

- ・大人も子どもも文化財を守る、大切にするというコミュニティづくりが重要。
- ・知られていない多くの池田の歴史と民俗の調査と研究が必要。
- ・歴史文化を継承していくことは大切なこと。行政の力も必要だが、まずは住民自身の意識改革が大切。
- ・歴史を伝えていく為にも“地域を知ろう、守ろう”という考えのもと、総合学習の中で小中学校の子どもたちに伝え、その起源を教えることが重要。
- ・座談会や井戸端会議的に、子ども、大人、高齢者が一緒に気軽に話し合い、歴史文化遺産について紹介されるような場が必要。
- ・子ども達が大人になったとき、心のふるさととして思い出すためにも、祭り・盆踊り・もちつき大会などを地域が率先して実施することが重要。
- ・地域の風俗・風習・文化が衰退する中、歴史的意義をみつけて地域の“和”の形成に努力したいと考えている。
- ・池田は伝統のあるまち。性急に走るのではなく息の長い文化を守る姿勢が大切。守り続け、維持をはかり遺産として受け継ぐべき。

■歴史文化遺産の価値について

- ・池田には、古くから銀行などがあるかと思えば、農業なども活発で、商農業が栄えた土地だと感じている。神田や細河に畑が今でも残っている事が素晴らしい。
- ・池田市の歴史文化遺産を列挙した資料をみたことがなく、今まで知らなかった遺産もあった。今回のアンケートがきっかけになり、改めて注意する様になった。
- ・歴史文化のテーマのひとつ「交流が培った歴史文化」に関わる石橋南小学校の「石橋」の石の真実性について、研究・再検討が必要。
- ・神田の八坂神社の木々は、立派で大切にしたい緑（早苗の森）である。
- ・都会に最も近くにある自然（植木畑、稲作作業、河原遊び）を味わえる散歩道（が細河には残されている）。比較的なだらかな道・路地を自分のペースで散歩しながら、春夏秋冬の季節を味わえる。高齢者に最適な場所は、近隣ではここしかなく、何回来ても飽きない再発見を味わえる。

■歴史文化遺産の活用手法などについて

- ・池田の歴史文化に関するテーマやアピールできる焦点、注目してほしい点をしぼり、より魅力を発信していける市になることを期待する。
- ・余野川に沿った亀岡街道と、猪名川に沿った能勢街道が木部で合する細河郷は、昔から文物の交流が盛んであったと思われ、延喜の帝にまで聞こえた式内社細川神社を祀り、郷土の平安と繁栄を願ってきたと思われる。特に植木の生産に励み、「細河の植木」として、植木の4大産地の1つに数えられる

までに至った。今後もこの伝統産業の振興に手厚い施策を施し、ことに後継者育成に力を注ぐ必要がある。細川神社では、毎年2月1日に樹祖祭きのみおやさいを斎行し、植木産業への意識高揚に努めている。

- ・織姫伝説などのロマンを含む事柄をベースに、子ども、生徒、大人がそれぞれ理解でき、興味のわくストーリーを作り、繰り返し接しても飽きない魅力をもたせることが大切。
- ・発展時期が異なっても、有馬道・能勢街道・西国街道などの街道が交差、接する地域特性を生かし、街道ごとの歴史文化遺産を整理し、それぞれの個性ある物語を紹介できるようにすることが重要。地域は徒歩圏内に絞ることが望ましいが、孤立しないようにするため、各街道間、及び街道の先への動線も考慮することが重要。また、各街道には、楽しめるものや場所もあることが必要。五感に訴えるものも大切。
- ・細河の自然と緑・巨樹・巨木・古木などを守っていきながら、(池田市が進める)夢プラン・テーマパーク構想を進めていくことが重要。
- ・自然観察会のように、初心者到现场でガイドする催しを続けることを提案する。
- ・美観地区設定も検討するべき。
- ・吉田町の吉田橋西詰の近くを流れる用水路のホタルの生息状況を調べ、ホタル狩りが可能な場として活用すれば、子ども達に楽しい思い出を残せる。
- ・古地図の紹介、または現在地図と古地図との比較(が重要)。

■活用に向けた各種整備について

- ・歴史民俗資料館からの発信・収集・保存・展示だけでなく、古文書の翻刻、研究発表、資料館紀要、通信などの発行も必要。
- ・まだまだ知られていない行事や歴史文化遺産などに関する資料作成が必要。
- ・池田には千数百年前からの古墳・神社があり、織物の発祥の地であることなど、奈良県の古墳と比較しても劣らないものがあるため、散策道や標識の整備をすることが重要。
- ・造り酒屋を物販やレストランなどに活用することを提案する。
- ・池田は、蕪村収集では日本一であり、牡丹花肖柏、呉春などに関連する文化財もある。これらの文化人の交流の歴史をまとめた展示館の開設が望まれる。
- ・阪急石橋駅から池田へ向けて“歴史街道づくり”を提案する。能勢街道から有馬道にかけて、道標やベンチの設置や、舗装の色を変えるなどの整備が考えられる。地域におけるお茶の接待なども考えられる。
- ・石橋の謂われ石が石橋南小学校の内部にあり外側からはみえないため、外側からみえる様にすることを提案する。
- ・中世の池田城(土塁など)を復元してもらいたい。
- ・呉服小学校音楽堂はちょっとした遺産であるので、舞台の改修と貸し出しの工夫をすべき。
- ・もともと、畑地区・渋谷地区は晩生おくてのみかんの産地と聞いている。アゲハ蝶の生育にも関わるため、市内の公園にみかんを植林することを提案する。
- ・素晴らしい歌詞である池田市歌を学校や行事でも歌えるようにする試みが重要。
- ・鉢塚古墳は、阪神・淡路大震災や東日本大震災を始めその後も頻発する地震と、1300年の経過による石の劣化と石組みの弛みなどが常に懸念される。国の文化財指定に向けた取り組みが必要。
- ・満寿美町の「染殿井」の植樹が撤去され風情がなくなっている。新たに低木などによる修景を提案す

る。

- ・近年、歴史散歩などの気運が高まっているが、残された道標に昔のものが少なく、新しく建てられているのが残念。古いものの維持・管理を要望する。
- ・(池田の歴史文化の) 写真集の発行を提案する。

■歴史文化遺産の発信について

- ・昔の街道にある古い時代の建物、西国街道や巡礼街道などの道筋や道標などを紹介・案内する。
- ・池田の中で最も歴史の古い寺である久安寺・東禅寺・松操寺などについてさらにPRを。
- ・久安寺は、関西花の寺第十二番であり、初夏のアジサイなどをSNSやインスタグラムなどの方法で発信することによって、池田をPRすることを提案する。
- ・池田のラーメン記念館には年間70万人が訪れるので、観光客（特に子ども達）に池田とはどんな所なのかを知ってもらうため、市役所の外からみえる所にパネルを設置するような仕掛けを提案する。
- ・一覧性のある歴史・文化の場所が確認できるマップの作成を提案する。
- ・街道町としての観光コースの見直しや、修学旅行の誘致活動を提案する。市民の意識を高めることに加えて、池田市外の人にも理解を強めてもらえることが今後の発展に一番重要である。
- ・市のホームページなどの活用により、市民及び市外に向け、もっと積極的に歴史文化遺産のPRをすべき。
- ・五月山は池田市で一番目立つ自然。知名度を上げる為に、例えば「心臓破りのハーフマラソン大会」といったようなイベントを日頃から実施することを提案する。
- ・池田炭には、見た目の美しさに加えて空気浄化作用（吸放湿作用）もある。茶道に関連する店舗だけではなく、一般物販店でもレジ横などに置き、目につく様に。商店街の活性化・観光地化が可能ではないか。

■課題

- ・(歴史文化遺産が) 年々忘れられてゆくように感じる。
- ・さくら通りの石彫刻周辺の管理が十分ではない。
- ・「歴史文化基本構想」の目的、具体策、今後の予定などを明確にすべき。
- ・場所やものの表示や説明が少なく、気づかずに通り過ぎてしまうことが多い。
- ・(市民でも) これだけ多くの歴史や文化があることを知らない。

※お答えいただいたアンケートの掲載にあたり、文言の整理、修正、抜粋、別項への集約等を実施。また、票数については、重複項目を集約（同一回答者による重複選択分は除く）。